

鬼北町議会3月定例会

第1回鬼北町議会定例会は3月6、8、25の3日間で開催されました。会では議案29件が提案され、全ての案件について原案のとおり可決されました。

議案

- 鬼北町中小企業・小規模企業振興基金条例の制定について
- 鬼北町税条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について
- 鬼北町病院事業会計補正予算(第3号)について
- 平成30年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について
- 平成30年度鬼北町ニュータウン鬼北の里特別会計補正予算(第1号)について
- 平成30年度鬼北町病院事業会計予算について
- 平成31年度鬼北町ニュータウン鬼北の里特別会計予算について
- 平成31年度鬼北町水道事業会計予算について
- 平成31年度鬼北町介護保険特別会計予算について
- 平成31年度鬼北町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について
- 平成31年度鬼北町浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算(第2号)について
- 平成31年度鬼北町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- 平成31年度鬼北町国民健康保険診療特別会計予算について
- 平成31年度鬼北町国民健康保険診療事業特別会計予算について
- 平成31年度鬼北町国民健康保険診療事業特別会計予算について
- 平成31年度鬼北町浄化槽市町村整備推進事業特別会計予算について
- 平成31年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計予算について

- 平成31年度鬼北町ニュータウン鬼北の里特別会計予算について
- 平成31年度鬼北町水道事業会計予算について
- 平成31年度鬼北町病院事業会計予算について
- 年々人口が減少していく中で、以前よりも利用者が増加するとは考えられず、これまで以上の経費が毎年発生することが予想されるため、投資効果についても中長期的な視点で十分に検討する必要がある。今後、利用者が増加するような何らかの活用方法を見出すことができれば、再度、再開について検討したいと考えている。

◆末廣啓議員

【老人保養センター「清水荘」霜村温泉について】

問 休業前の利用者数について
答 平成22年度が4,786人、平成23年度が4,735人、平成24年度が5,2023人、平成25年度が3,178人、平成26年度は11月まで1,848人である。

問 どうな理由で休業に至ったのか。
答 平成26年9月頃から、源泉の湧出量が著しく減少し、不足分を水道水で補いながら11月まで営業を続けていた。その間、新たな源泉の掘削や水脈の調査について調査検討するとともに、保健所にも鉱泉分析検査を依頼したところ、温泉法に規定する基準に達しておらず、温泉とは認められない結果だった。また、水脈や施設調査の結果、水脈の枯渇が原因と推測されるが、水質が変化していることから、水脈が枯渇もしくは細り、それに加えて河川水その他の水が混合し、水質が変化したものと考えられるという理由から、運営を休止した。

問 再開する考え方はあるのか。
答 仮に再開するとなると、以前取水

していた源泉は枯渇しているため、新たな源泉を探すための水脈の調査費用や掘削工事、配水工事等で多額のコストがかかる。また、水道水利用による運営に変更するにしてもかなりの経費の増加が見込まれる。

問 再開した場合、町営バスの愛治公民館までの乗り入れについての考えはないのか。
答 再開する際に温泉利用者のバス利用調査を行い、町営バスの愛治公民館への乗り入れについて検討したい。

◆中山定則議員

【自治体クラウド導入について】
問 自治体クラウドグループの団体数は何団体か。また、何割程度の費用削減効果を見込んでいるのか。

答 本町が所属するグループは7自治団体(大洲市、八幡浜市、西予市、内子町、伊方町、久万高原町、鬼北町)で検討会を構成している。
なお、本町では株式会社愛媛電算のシステムを利用することを決定し、グループに参加しているが、そのプロポーザルにおける評価として、単独クラウドにおける費用削減効果は3.96%と試算されている。